令和８年度 第２回 行政改革推進委員会 意見交換

資料3

意見交換のテーマ「公共施設等総合管理計画改訂に向けた取組について」

これまでの経緯と今後の進め方

知　る　**公共施設の現状と課題を共有**

公共施設を利用している人，利用していない人，あらゆる立場の人に市の公共施設の現状を知ってもらうことが重要である。
あるべき施設の方向性を踏まえた，残すべき施設などについて，地域の皆さんと意見交換していく。

考える　**データに基づく検討**

施設の維持管理コストなどをまとめた「施設カルテ」を見える化して共有し，市民の皆様と一緒に施設の統廃合などの方向性を検討していく。

対話する　**「あるべき施設」の方向性**

各地域で将来像を描きながら，残していくべき施設について意見交換を行う。

今回の意見交換の論点

1　公共施設マネジメント　３つの「基本方針」と６つの「基本原則」及び施設カルテについて

公共施設総合管理計画を見直す際の３つの基本方針（施設のあり方など）と，施設の再編に向けた６つの基本原則及び施設カルテについて，追加すべき視点やさらなる考え方など，ご意見をお聞かせください。

2　「市民フォーラム」を通じた「知る」「考える」「対話する」の実施内容について

各地域での話し合いを充実させるための施設情報の発信方法と，その第一歩となる「市民フォーラム」の実施概要について，ご意見をお聞かせください。

意見交換1　公共施設等総合管理計画･基本方針の策定について

【計画の背景】
○人口減少や少子化等による公共施設等の利用需要の変化と公共施設の老朽化の進行による維持・修繕の需要増による**建て替え需要の集中的増大**が予想

○施設の維持管理経費の増大と，少子・高齢化による生産年齢人口の減少に伴う**税収不足**の懸念

【計画の目的】
長期的（４０年間）な視点による**戦略的・計画的な更新・統廃合・長寿命化**など**公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進**

【改訂の趣旨】
基本情報の時点修正及び更新費用等の見直し，国の指針等及び本市を取り巻く社会情勢を踏まえた公共施設マネジメントの推進

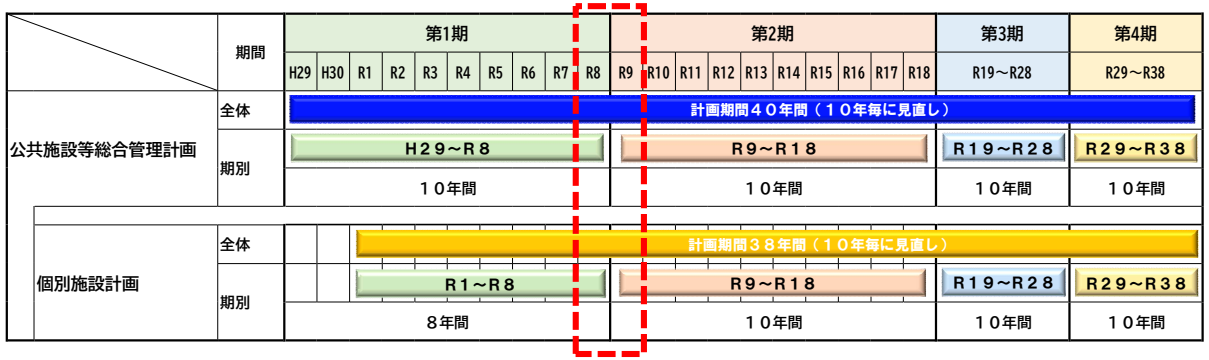
【計画の対象範囲】

Ⅰ　計画の概要

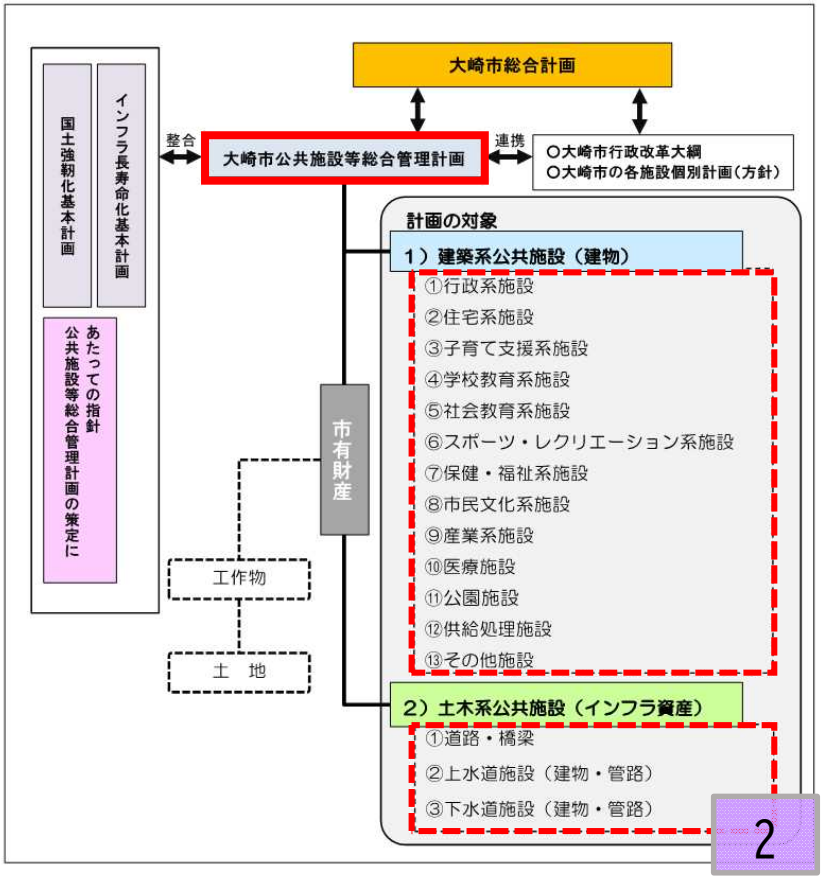
１　期間　平成２９年度から令和３８年度（４０年間）

２　対象　・建築系公共施設（建物）
➡行政系施設，住宅系施設，子育て支援系施設等の**１３分類**
・土木系公共施設（インフラ資産）
➡道路・橋梁，上下水道施設　の**３分類**

３　改訂　１０年毎に見直し
（**令和９年度**，令和１９年度，令和２９年度）



【計画の体系】



Ⅱ　適正化に向けた施設方針の判断プロセス（２段階の評価）

《新たな取組》

※公共施設の適正化にあたり，客観的指標に基づく２段階の評価により，
今後のあり方を見直すべき施設を整理する。

１次評価

【ポートフォリオ分析(ハード面×ソフト面)による評価】
・ハード面(老朽度，建物性能等)による定量評価
・ソフト面(利用状況，コスト等)による定量評価
→『維持・建物の見直し・機能の見直し・あり方の見直し』に分類

施設分類や機能，分類に応じて，２次評価を適用

２次評価

【A：長寿命化の判断】
・長寿命化すべき施設の基準を設定し，対象を判断
（構造・築年数・規模・耐震性等）
→長寿命化すべき施設を選定

【B：方針の判断】
（次の視点に基づくフローチャート）
・公的必需性
・代替性の有無
（他公共施設の立地状況，防災機能の代替性，民間による代替性等）
→具体の施設方針を判断(集約・規模縮小・廃止等)

方針の決定

【施策方針の決定】
・「継続(長寿命化の有無)・集約(受入・移転)・廃止等」を判断
・機能や規模，政策等を考慮した優先度を設定し，優先度の高い施設については短期的かつ具体の方針を検討
→個別施設計画に反映

計画の推進

・投資的経費の調整と優先事業の選定を踏まえた事業実施
・住民説明・合意形成を図りながら推進
→毎年度の予算編成に反映

Ⅲ　改訂に向けたスケジュール

令和８年度		
基本方針及び施設類型別の基本方針(案)	4月～6月	・基本方針(案)及び施設類型別の基本的な方針(案)作成 ・庁内検討チーム審議・所管課確認
	7月	・財産管理等審査会 ・行政改革推進委員会
	7月～8月	・市民意識調査（アンケート）
	8月	・庁議 ・総務常任委員会
	12月頃	・市民フォーラム
	1月～	・地域フォーラム （各地域での意見交換会）
個別施設計画の方針	8月～12月	・個別施設計画(案)作成 ・庁内検討チーム審議・所管課確認
	1月	・財産管理等審査会
	2月	・庁議
	3月	・総務常任委員会
令和９年度		
各種調整	4月～6月	・所管課調整
	5月～6月	・全体資料精査
総合管理計画(案) 個別施設計画(案)	7月	・財産管理等審査会
	8月	・庁議 ・総務常任委員会
	9月,10月	・パブリックコメント
総合管理計画(案) 個別施設計画(案) 最終版	11月	・財産管理等審査会
	12月	・庁議
	1月	・総務常任委員会
	3月	○大崎市公共施設等総合管理計画及び個別施設計画改訂

Ⅳ　基本方針　【概要版】

◎　市民生活に必要とされる公共サービスを将来にわたり安定的に提供するためには，公共施設の再編が必要不可欠であり，これを進めるにあたっては市民目線に立って施設の再編を考える必要があります。

そのためには，**施設の設置目的，利用状況，地域特性，公的必需性，代替機能の有無及び防災機能等**を総合的に勘案して，**施設総量の適正化**を図るとともに，**複合化，集約化，統廃合等**による効率的かつ利便性が高まる**施設配置を推進**していきます。

これらの取り組みを着実に進めるため，公共施設の管理に関する３つの基本方針を以下に定めます。

”施設のあり方”に関する方針

基本原則：	施設総量の適正化

① 社会構造の変化を踏まえた施設総量の適正化
② 客観的評価に基づく施設のあり方の検討
③ 新規整備の抑制による施設総量の計画的な縮減

基本原則：	機能の集約化や複合化による効率的な施設配置

① 行政サービスや機能の維持を重視した施設配置
② 集約化・複合化を基本とした効率的な施設配置
③ 利用実態を踏まえた再配置・機能移転

”機能の確保”に関する方針

基本原則：	計画的な長寿命化の推進

① 安全性と機能性の確保や更新需要の緩和
② 利用実態を踏まえた長寿命化対象施設の選定

基本原則：	点検・診断等による予防保全の推進

① 事後保全型から予防保全型への転換
② 点検・診断の実施による早期把握・対応
③ 施設情報の一元管理による計画的な保全

”必要な経費”に関する方針

基本原則：	財源の重点配分による更新費用の縮減と平準化

① 新規整備を前提とした考えからの転換
② 施設総量の適正化等による更新費用等の縮減
③ 優先順位付けの徹底による財政負担の平準化

基本原則：	経営的視点による施設の維持管理・運営

① 経営的視点による効率的かつ持続可能な管理運営
② 民間活力の導入による持続可能性の確保

Ⅴ　施設類型別の基本的な方針　【概要版】

《建築系施設》

1　行政系施設

・市役所の防災拠点の機能を保ちながら，空いたスペースを他の公共施設の集約先として活用し，施設全体の量とコストを減らします。
・また，再生可能エネルギーの導入や省エネ，消防施設の適正配置を進め，防災力と脱炭素化を強化します。

2　住宅系施設

・市営住宅は，財政状況を踏まえて需要や立地に基づいた計画的な建て替えを進めるとともに，残す施設は民間と連携して効率的な維持管理を図ります。

3　子育て支援系施設

・少子化や民間サービスの充実に合わせて，保育所や児童館などを統合・再配置し，必要な施設数に見直します。
・残す施設は民間委託などを活用し，サービスの質を保ちながら維持管理費を抑えます。

4　学校教育系施設

・児童・生徒数や地域の状況に応じて学校の配置や給食施設の集約を見直し，維持管理コストの削減を進めます。
・あわせて，学校施設を防災・地域拠点として活用し，再生可能エネルギーやデジタル技術，民間活力の導入を検討します。

5　社会教育系施設

・研修センターなどは，市民文化系施設とあわせて見直し，施設の再配置や数の削減を進めます。
・残す施設は，収益を上げる工夫と維持管理費の削減を両立できる運営方法を検討します。

6　ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系施設

・市の公共施設は，学校や公民館などを活用しながら施設数を見直し，民間活用やデジタル化で運営コストを減らします。
・また，防災拠点を優先して再生可能エネルギーや省エネを進め，維持管理費の削減と災害対応力の向上を図ります。

《建築系施設》

７　保健・福祉系施設

・高齢化で福祉需要が増える中，民間サービスを活用できる施設は譲渡・売却を進め，施設数を見直します。
・行政が必要な施設は統合や管理方法の工夫により，持続可能な運営を目指します。

８　市民文化系施設

・施設の数を見直し，学校や支所への機能集約・地域への譲渡を進めながら，必要な施設はデジタル化や管理方法の改善で運営コストを減らします。
・また，防災拠点を優先して再生可能エネルギーを導入し，災害に強く環境にやさしい施設づくりを進めます。

９　産業系施設

・公的な必要性が下がった施設は，原則として民間や地域へ売却・譲渡します。
・市が持ち続ける施設は，収益を増やしながら管理費をできるだけ抑える運営を進めます。

１０　医療施設

・医療制度の変更や医療安全に対応し，最善の医療を提供できるようにします。
そのため，病院機能を保つために必要な施設の改修や更新を進めます。

１１　公園施設

・公園が安全で身近な憩い・交流の場として使われるよう，定期的に施設を点検します。
・また，東屋やトイレなど老朽化した施設を適切に維持管理します。

１２　供給処理施設

・全施設廃止の方針により除外

１３　その他施設

・使われていない施設や老朽化・利用が少ない施設は，市の費用で維持せず売却を進めます。
・引き続き使う施設は民間委託や使用料の見直しにより，市の収入確保を図ります。

《インフラ系施設》

１４　道路・橋梁

・ＤＸの推進やデータを活用して道路・橋梁の点検や修繕を効率化し，壊れる前に計画的に補修する管理へ移行します。
・また，必要な道路整備を進めながら，施設の安全確保と長寿命化を図ります。

１５　上水道

・将来の水需要に合わせて施設や管路を適切に管理・更新し，ＤＸの推進により漏水などの事故を未然に防ぎます。
・また，民間の力も活用し，少ない職員でも効率的に維持管理できる体制づくりを進めます。

１６　下水道

・下水道や浄化槽は，老朽化や人口減少に合わせて，廃止や個人管理への支援も含めた見直しを進めます。
・民間の技術や経営力を活用し，効率的な維持管理・更新を実現するべく，ウォーターＰＰＰ等の導入について検討します。

Ⅵ　公共施設の施設カルテの整備について

目　的

１．施設情報の一元管理

施設の状態や利用状況を正確に把握し，効率的な維持管理を実施する。

２．計画的な検討基礎資料

施設総量の適正化のための施設の修繕や長寿命化，集約化，再編などを客観的データに基づく検討資料として活用する。

カルテの情報

① 施設情報（所管課，住所，施設分類，維持管理・運営，防災機能の有無，閉館日，開館時間，職員数）

② 建物情報（建物名称，財産区分，整備年度，構造，延床面積，敷地面積，耐震化状況，土地所有者）

③ 維持管理に要するコスト（光熱水費，委託料，指定管理料，使用料，工事請負費，修繕費，財産収入，国県支出金）

④ 利用状況（貸室別利用者数）

⑤ コスト分析（利用者１人あたりの歳出及び収支，延床面積当たりの歳出・収支，市民１人当たりの歳出・収支）

⑥ 利用者人数と歳出・歳入の推移のグラフ

⑦ 工事（改修・修繕）履歴（実施年度，金額，工事内容）

⑧ 施設の状況写真（外観，主要室の内観）

大崎市民会館

施設ID：

①施設情報

所管課	教育委員会生涯学習課		維持管理・運営	直営	
住所	北町五丁目21		地域	古川	
施設分類	市民文化系施設		防災機能の有無	避難場所	
閉館日	12/29～1/3，その他臨時休館日		開館時間	9:00～22:00	
常駐職員数（人）	5	うち正職員（人）	4	うち会計年度（人）	1

②建物情報

延床面積（㎡）	2,949.00		敷地面積（㎡）	10,486.00		
財産区分	行政財産		土地所有者	市		
建物情報		建物名称	整備年度（西暦）	延床面積（㎡）	構造	耐震化状況
	1	大崎市民会館　市民会館 ホール	1966	2683.00	鉄筋コンクリート造	耐震診断済
	2	大崎市民会館　管理棟	1993	149.00	鉄筋コンクリート造	耐震診断済
	3	大崎市民会館　事務室	2006	54.00	鉄筋コンクリート造	耐震診断済
	4	大崎市民会館　ゴミ置場	1979	4.00	コンクリートブロック造	不明
	5	大崎市民会館　自転車置場	1982	59.00	鉄骨造	不明
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					

③維持管理運営に要するコスト

収入・支出（円）		2023年度（R５年度）	2024年度（R6年度）	2025年度（R7年度）	平均
支出	人件費	24,200,000	21,600,000	21,300,000	22,366,667
	光熱水費	7,783,198	8,045,456	7,538,577	7,789,077
	委託料	22,257,730	22,680,130	21,562,090	22,166,650
	指定管理料	1,000,000	0	0	333,333
	使用料	0	0	0	0
	工事請負費	2,680,700	14,537,000	8,195,000	8,470,900
	修繕費	33,000	231,000	2,058,100	774,033
	支出合計	57,954,628	67,093,586	60,653,767	61,900,660
収入	使用料	4,588,110	5,376,970	5,576,810	5,180,630
	財産収入	0	0	0	0
	国県支出金	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	歳入合計	4,588,110	5,376,970	5,576,810	5,180,630
負担額（支出ー収入）		53,366,518	61,716,616	55,076,957	56,720,030

④利用状況

貸室別利用者数（人）	2023年度（R５年度）	2024年度（R6年度）	2025年度（R7年度）	平均
大ホール	31,139	26,673	29,760	29,190.7
利用者数合計（人）	31,139	26,673	29,760	29,190.7

※人件費は経常的な経費として，給料・職員手当等・共済費／職員数の当初予算時の給与費明細書ベースで計上。

⑤コスト分析

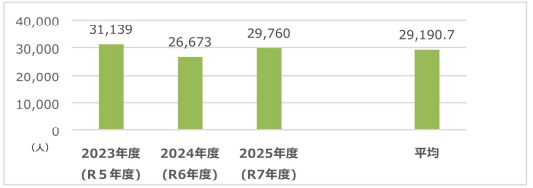
各種コスト	2023年度（R５年度）	2024年度（R6年度）	2025年度（R7年度）	平均
利用者1人当たり支出（円/人）	1,861.2	2,515.4	2,038.1	2,138.2
延床面積当たり支出（円/㎡）	19,652.3	22,751.3	20,567.6	20,990.4
市民1人当たり支出（円/人）	468.2	549.8	504.3	507.4
利用者1人当たり収支（円/人）	1,713.8	2,313.8	1,850.7	1,959.4
延床面積当たり収支（円/㎡）	18,096.5	20,928.0	18,676.5	19,233.6
市民1人当たり収支（円/人）	431.2	505.7	457.9	464.9

■施設写真

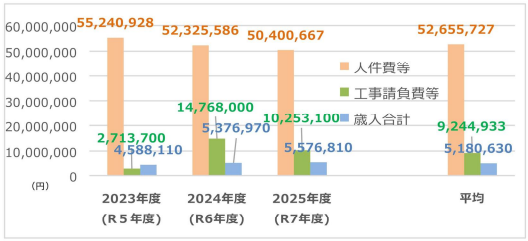




■利用者数（人）の推移



■収入・支出（円）の推移



⑥工事（改修・修繕）履歴

実施年度	金額（円）	工事内容
2018	896,000	大ホール暖房用ボイラー制御盤交換修繕
2019	864,000	舞台吊り物マニラロープ交換修繕
2019	982,000	舞台吊り物ワイヤー交換修繕
2019	1,877,000	第一級帳撤去
2020	500,000	大道具室・機械室天井照明器具改修
2020	2,090,000	重油地下タンク改修
2021	42,020,000	舞台照明用操作卓改修
2022	550,000	大ホール冷房用冷温水配管修繕
2022	2,200,000	舞台ホリゾント幕交換
2022	1,155,000	大ホール暖房用ボイラー修繕
2022	10,824,000	中ホール防水及び雨水排水改修
2023	2,680,700	大ホール冷房用冷却水
2024	2,915,000	大ホール冷房用冷凍機設備(No.2号機)修繕
2024	4,857,600	正面玄関庇塗装改修
2024	7,700,000	大ホールバック幕設備交換
2024	1,980,000	大ホール冷房用冷水管(還り管)修繕
2025	8,195,000	大ホール中割幕設備改修
2025	1,210,000	大ホール暖房用ボイラーニップル交換修繕

※2017年度（H28年度）以降に実施した50万円以上の修繕及び工事を記載（50万円未満であっても施設管理上必要と思われる修繕及び工事は記載）

大崎市図書館

施設ID：

①施設情報

所管課	教育委員会図書館		維持管理・運営	直営	
住所	古川駅前大通四丁目2番1号		地域	古川	
施設分類	教育施設		防災機能の有無	福祉避難所	
閉館日	○図書館：毎週月及び毎月第３木（祝日のときは翌平日） 12/28～1/4　11月中の2週間　○複合施設部分：12/29～		開館時間	○図書館：火～金9:30～19:00　土日祝9:30～17:00　○複合施設部分：9:00～	
常駐職員数（人）	33	うち正職員（人）	14	うち会計年度（人）	20

②建物情報

延床面積（㎡）	6,432.39		敷地面積（㎡）	8,120.00		
財産区分	行政財産		土地所有者	市		
建物情報		建物名称	整備年度（西暦）	延床面積（㎡）	構造	耐震化状況
	1	大崎市図書館	2017	6393.74	鉄筋コンクリート造	新耐震基準
	2	自転車置場	2018	38.65	軽量鉄骨造	新耐震基準
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					

③維持管理運営に要するコスト

収入・支出（円）		2023年度（R５年度）	2024年度（R6年度）	2025年度（R7年度）	平均
支出	人件費	145,600,000	170,800,000	172,700,000	163,033,333
	光熱水費	19,122,247	19,310,442	17,951,243	18,794,644
	委託料	46,163,854	45,057,078	45,634,336	45,618,423
	指定管理料	0	0	0	0
	使用料	0	0	0	0
	工事請負費	0	0	0	0
	修繕費	2,059,318	2,616,420	2,226,983	2,300,907
	支出合計	212,945,419	237,783,940	238,512,562	229,747,307
収入	使用料	2,236,860	2,176,750	2,485,880	2,299,830
	財産収入	223,740	297,025	1,810,503	777,089
	国県支出金	0	0		0
	その他	1,441,246	1,533,060	1,413,648	1,462,651
	歳入合計	3,901,846	4,006,835	5,710,031	4,539,571
負担額（支出－収入）		209,043,573	233,777,105	232,802,531	225,207,736

④利用状況

貸室別利用者数（人）	2023年度（R５年度）	2024年度（R6年度）	2025年度（R7年度）	平均
図書館入館者	249,850	239,641	237,878	242,456.3
研修室１～５	31,653	30,105	30,212	30,656.7
多目的ホール	16,683	15,956	17,071	16,570.0
ワークスペースA～C	192	183	164	179.7
学習室１・２	14,116	16,133	15,925	15,391.3
利用者数合計（人）	312,494	302,018	301,250	305,254.0

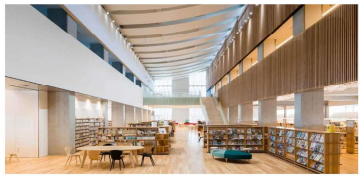
※人件費は経常的な経費として，給料・職員手当等・共済費／職員数の当初予算時の給与費明細書ベースで計上。

⑤コスト分析

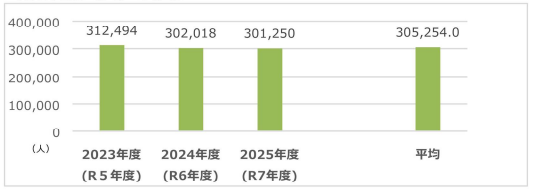
各種コスト	2023年度（R５年度）	2024年度（R6年度）	2025年度（R7年度）	平均
利用者1人当たり支出（円/人）	681.4	787.3	791.7	753.5
延床面積当たり支出（円/㎡）	33,105.2	36,966.7	37,079.9	35,717.3
市民1人当たり支出（円/人）	1,720.4	1,948.5	1,982.9	1,883.9
利用者1人当たり収支（円/人）	669.0	774.1	772.8	738.6
延床面積当たり収支（円/㎡）	32,498.6	36,343.7	36,192.2	35,011.5
市民1人当たり収支（円/人）	1,688.9	1,915.7	1,935.4	1,846.7

■施設写真

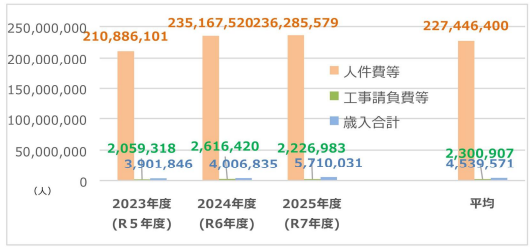




■利用者数（人）の推移



■収入・支出（円）の推移



⑥工事（改修・修繕）履歴

実施年度	金額（円）	工事内容
2021	517,000	カフェガラス交換
2022	671,000	空気調和機部品修繕
2022	1,353,000	空気調和機加湿エレメント交換
2024	638,000	冷却塔散水ポンプ交換
2024	1,430,000	非常用発電機修繕
2025	935,000	ヒートポンプチラー部品交換修繕

※2017年度（H28年度）以降に実施した50万円以上の修繕及び工事を記載（50万円未満であっても施設管理上必要と思われる修繕及び工事は記載）

大崎市田尻総合体育館

施設ID：

①施設情報

所管課	教育委員会沼部公民館		維持管理・運営	直営	
住所	田尻沼部字早稲田42番地		地域	田尻	
施設分類	スポーツ・レクリエーション系施設		防災機能の有無	避難場所	
閉館日	毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は、翌火曜日）・毎年12/29～1/3		開館時間	9:00～21:00	
常駐職員数（人）	4	うち正職員（人）	2	うち会計年度（人）	2

②建物情報

延床面積（㎡）	5,588.53			敷地面積（㎡）		66,000.00
財産区分	行政財産			土地所有者		市
建物情報		建物名称	整備年度（西暦）	延床面積（㎡）	構造	耐震化状況
	1	大崎市田尻総合体育館	1994	5375.99	鉄筋コンクリート造	新耐震基準
	2	大崎市田尻総合体育館（機械室）	1994	110.50	鉄筋コンクリート造	新耐震基準
	3	田尻総合体育館外便所	1995	25.92	鉄筋コンクリート造	新耐震基準
	4	田尻総合体育館（湯沸室）	1997	6.12	鉄骨造	新耐震基準
	5	田尻総合体育館（物置）	1999	47.00	鉄骨造	新耐震基準
	6	リバティハウス	1998	23.00	鉄骨造	新耐震基準
	7					
	8					
	9					
	10					

③維持管理運営に要するコスト

支出・収入（円）		2023年度（R５年度）	2024年度（R6年度）	2025年度（R7年度）	平均
支出	人件費	27,800,000	31,800,000	30,300,000	29,966,667
	光熱水費	10,478,877	10,037,456	12,139,858	10,885,397
	委託料	10,236,600	10,778,680	12,345,080	11,120,120
	指定管理料	0	0	0	0
	使用料	467,307	665,142	891,874	674,774
	工事請負費	2,200,000	54,189,300	4,840,000	20,409,767
	修繕費	416,130	4,845,500	2,082,003	2,447,878
	支出合計	51,598,914	112,316,078	62,598,815	75,504,602
収入	使用料	4,000,870	3,780,250	6,467,990	4,749,703
	財産収入	243,700	257,180	343,570	281,483
	国県支出金	0	0	0	0
	その他	93,830	64,290	49,890	69,337
	歳入合計	4,338,400	4,101,720	6,861,450	5,100,523
負担額（支出－収入）		47,260,514	108,214,358	55,737,365	70,404,079

④利用状況

貸室別利用者数（人）	2023年度（R５年度）	2024年度（R6年度）	2025年度（R7年度）	平均
アリーナ	46,959	47,860	49,707	48,175.3
柔剣道室	4,989	6,850	7,052	6,297.0
トレーニング室	3,604	3,411	3,954	3,656.3
会議室	5,195	6,011	6,591	5,932.3
グラウンド	6,004	5,119	4,797	5,306.7
利用者数合計（人）	66,751	69,251	72,101	69,367.7

※人件費は経常的な経費として，給料・職員手当等・共済費／職員数の当初予算時の給与費明細書ベースで計上。

⑤コスト分析

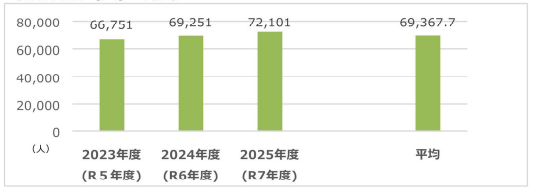
各種コスト	2023年度（R５年度）	2024年度（R6年度）	2025年度（R7年度）	平均
利用者1人当たり支出（円/人）	773.0	1,621.9	868.2	1,087.7
延床面積当たり支出（円/㎡）	9,233.0	20,097.6	11,201.3	13,510.6
市民1人当たり支出（円/人）	416.9	920.4	520.4	619.2
利用者1人当たり収支（円/人）	708.0	1,562.6	773.0	1,014.6
延床面積当たり収支（円/㎡）	8,456.7	19,363.7	9,973.5	12,598.0
市民1人当たり収支（円/人）	381.8	886.7	463.4	577.3

■施設写真

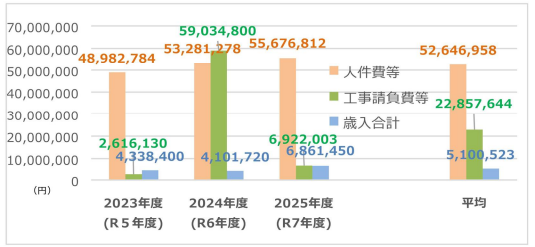




■利用者数（人）の推移



■収入・支出（円）の推移



⑥工事（改修・修繕）履歴

実施年度	金額（円）	工事内容
2017	1,994,000	正面玄関ドア修繕
2018	1,771,200	グランドフェンス設置工事
2019	4,514,000	トレーニング室・幼児体育室エアコン更新工事
2020	2,915,000	1階及び2階女子トイレ改修工事
2021	5,280,000	中庭・グラントトイレ改修工事
2022	1,775,000	アリーナ床ウレタン塗装工事
2023	2,200,000	会議室エアコン交換工事
2023	53,546,900	照明器具LED化工事
2024	642,400	冷暖房設備排煙濃度計交換工事
2024	2,750,000	火災受信機修繕工事
2024	1,104,400	高圧機器修繕工事
2025	4,840,000	空調設備冷温水機運転基盤改修工事
2025	623,700	消防設備修繕

※2017年度（H28年度）以降に実施した50万円以上の修繕及び工事を記載（50万円未満であっても施設管理上必要と思われる修繕及び工事は記載）

古川保健福祉プラザ

施設ID：

①施設情報

所管課	民生部健康推進課		維持管理・運営	直営	
住所	古川三日町二丁目5番1号		地域	古川	
施設分類	保健福祉系施設		防災機能の有無	福祉避難所	
閉館日	12/29～1/3　日祝		開館時間	8:30～17:15	
常駐職員数（人）	0	うち正職員（人）	0	うち会計年度（人）	0

②建物情報

延床面積（㎡）	4,939.82			敷地面積（㎡）	7,406.47	
財産区分	行政財産			土地所有者	市	
建物情報		建物名称	整備年度（西暦）	延床面積（㎡）	構造	耐震化状況
	1	古川保健福祉プラザ	1997	4939.82	鉄筋コンクリート造	新耐震基準
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					

③維持管理運営に要するコスト

収入・支出（円）		2023年度（R５年度）	2024年度（R6年度）	2025年度（R7年度）	平均
支出	人件費	0	0	0	0
	光熱水費	22,742,713	21,564,333	16,705,934	20,337,660
	委託料	15,889,014	15,699,933	13,660,534	15,083,160
	指定管理料	17,858,000	17,858,000	17,858,000	17,858,000
	使用料	26,281	14,520	14,520	18,440
	工事請負費	0	0	128,744,000	42,914,667
	修繕費	4,208,160	4,208,600	2,861,650	3,759,470
	支出合計	60,724,168	59,345,386	179,844,638	99,971,397
収入	使用料	0	0	0	0
	財産収入	288,000	288,000	248,000	274,667
	国県支出金	0	0	0	0
	その他	15,035,976	14,592,847	11,507,308	13,712,044
	歳入合計	15,323,976	14,880,847	11,755,308	13,986,710
負担額（支出－収入）		45,400,192	44,464,539	168,089,330	85,984,687

④利用状況

貸室別利用者数（人）	2023年度（R５年度）	2024年度（R6年度）	2025年度（R7年度）	平均
市民健診等市把握分	9,602	11,254	11,583	10,813.0
老人福祉センター等社協把握分	11,234	11,865	11,353	11,484.0
利用者数合計（人）	20,836	23,119	22,936	22,297.0

※人件費は経常的な経費として，給料・職員手当等・共済費／職員数の当初予算時の給与費明細書ベースで計上。

⑤コスト分析

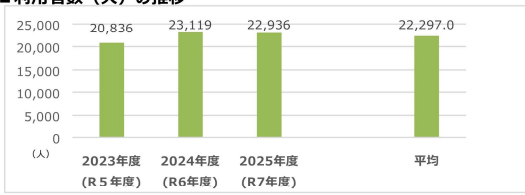
各種コスト	2023年度（R５年度）	2024年度（R6年度）	2025年度（R7年度）	平均
利用者1人当たり支出（円/人）	2,914.4	2,567.0	7,841.2	4,440.8
延床面積当たり支出（円/㎡）	12,292.8	12,013.7	36,407.1	20,237.9
市民1人当たり支出（円/人）	490.6	486.3	1,495.2	824.0
利用者1人当たり収支（円/人）	2,178.9	1,923.3	7,328.6	3,810.3
延床面積当たり収支（円/㎡）	9,190.7	9,001.2	34,027.4	17,406.4
市民1人当たり収支（円/人）	366.8	364.4	1,397.4	709.5

■施設写真

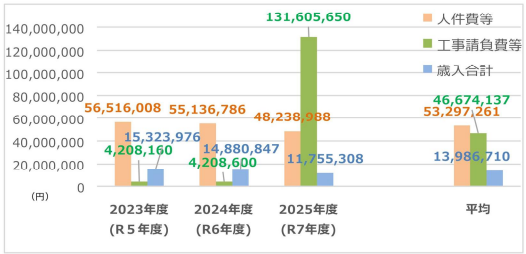




■利用者数（人）の推移



■収入・支出（円）の推移



⑥工事（改修・修繕）履歴

実施年度	金額（円）	工事内容
2017	1,782,000	トップライト防水工事
2017	4,212,000	自動火災報知設備機器更新工事
2020	1,298,000	給水ユニット修繕工事
2022	792,000	高圧機中開閉器交換修繕
2022	1,870,000	給水ユニット交換修繕（豪雨被害）
2022	2,310,000	機能訓練室系統空調機修繕
2023	803,000	冷温水発生機抽気ポンプ交換修繕
2023	3,190,000	冷温水発生機気密不良箇所修繕
2024	1,562,000	冷温水発生機配管等修繕
2024	1,386,000	自家用発電機バッテリー等交換修繕
2025	599,500	自動ドア部品交換
2025	6,094,000	高圧ケーブル及び高圧機器更新工事
2025	122,650,000	冷温水発生機更新工事

※2017年度（H28年度）以降に実施した50万円以上の修繕及び工事を記載（50万円未満であっても施設管理上必要と思われる修繕及び工事は記載）

松山保健福祉センターさんさん館

施設ID：

①施設情報

所管課	松山総合支所市民福祉課		維持管理・運営	その他	
住所	松山		地域	松山	
施設分類	保健福祉系施設		防災機能の有無	福祉避難所	
閉館日	土 日 祝日 12/29～1/3		開館時間	8：30～17：15	
常駐職員数（人）	0	うち正職員（人）	0	うち会計年度（人）	0

②建物情報

延床面積（㎡）	2,452.90		敷地面積（㎡）	13,785.84		
財産区分	行政財産		土地所有者	市		
		建物名称	整備年度（西暦）	延床面積（㎡）	構造	耐震化状況
建物情報	1	保健福祉センター（さんさん館）	1998	2324.90	鉄筋コンクリート造	新耐震基準
	2	保健福祉センター（車庫）	1999	128.00	鉄骨造	新耐震基準
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					

③維持管理運営に要するコスト

収入・支出（円）		2023年度（R５年度）	2024年度（R6年度）	2025年度（R7年度）	平均
支出	人件費	0	0	0	0
	光熱水費	10,446,341	9,637,834	6,168,406	8,750,860
	委託料	4,999,120	5,082,340	5,484,915	5,188,792
	指定管理料	0	0	0	0
	使用料	0	0	0	0
	工事請負費	0	3,746,600	831,600	1,526,067
	修繕費	136,950	1,243,105	1,211,100	863,718
	支出合計	15,582,411	19,709,879	13,696,021	16,329,437
収入	使用料	0	0	0	0
	財産収入	0	0	0	0
	国県支出金	0	0	0	0
	その他	7,028,500	6,590,030	2,454,530	5,357,687
	歳入合計	7,028,500	6,590,030	2,454,530	5,357,687
負担額（支出－収入）		8,553,911	13,119,849	11,241,491	10,971,750

④利用状況

貸室別利用者数（人）	2023年度（R５年度）	2024年度（R6年度）	2025年度（R7年度）	平均
全体	3,371	3,751	3,607	3,576
利用者数合計（人）	3,371	3,751	3,607	3,576.3

※人件費は経常的な経費として，給料・職員手当等・共済費／職員数の当初予算時の給与費明細書ベースで計上。

⑤コスト分析

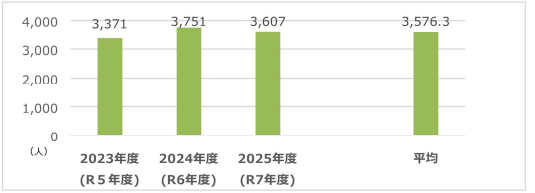
各種コスト	2023年度（R５年度）	2024年度（R6年度）	2025年度（R7年度）	平均
利用者1人当たり支出（円/人）	4,622.5	5,254.6	3,797.1	4,558.0
延床面積当たり支出（円/㎡）	6,352.6	8,035.3	5,583.6	6,657.2
市民1人当たり支出（円/人）	125.9	161.5	113.9	133.8
利用者1人当たり収支（円/人）	2,537.5	3,497.7	3,116.6	3,050.6
延床面積当たり収支（円/㎡）	3,487.3	5,348.7	4,582.9	4,473.0
市民1人当たり収支（円/人）	69.1	107.5	93.5	90.0

■施設写真

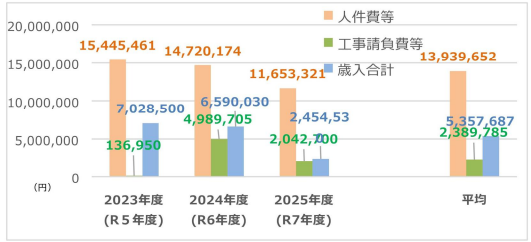




■利用者数（人）の推移



■収入・支出（円）の推移



⑥工事（改修・修繕）履歴

実施年度	金額（円）	工事内容
2017	807,840	空調設備修繕
2020	1,221,000	災害復旧（大会議室壁面・天井）修繕
2020	594,000	空調設備修繕
2021	583,000	空調設備修繕
2024	2,750,000	消防設備非常放送設備工事
2024	996,600	自家発電機キュービクル更新工事
2025	831,600	高圧引込用気中開閉器更新工事

※2017年度（H28年度）以降に実施した50万円以上の修繕及び工事を記載（50万円未満であっても施設管理上必要と思われる修繕及び工事は記載）

大崎市子育て支援拠点施設わいわいキッズ大崎

施設ID：

①施設情報

所管課	民生部子育て支援課		維持管理・運営	直営	
住所	古川千手寺二丁目3-1		地域	古川	
施設分類	子育て支援系施設		防災機能の有無	無	
閉館日	12/29～1/3		開館時間	9:00～12:00，13:00～17:00	
常駐職員数（人）	16	うち正職員（人）	7	うち会計年度（人）	9

②建物情報

延床面積（㎡）	1,394.85			敷地面積（㎡）		3,399.37
財産区分	行政財産			土地所有者		市
建物情報		建物名称	整備年度（西暦）	延床面積（㎡）	構造	耐震化状況
	1	大崎市子育て支援拠点施設わいわいキッズ大崎	2019	1379.00	木造	新耐震基準
	2	駐輪場	2019	9.12	鉄骨造	新耐震基準
	3	物置	2019	6.73	鉄骨造	新耐震基準
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					

③維持管理運営に要するコスト

収入・支出（円）		2023年度（R５年度）	2024年度（R6年度）	2025年度（R7年度）	平均
支出	人件費	67,700,000	75,200,000	87,600,000	76,833,333
	光熱水費	3,873,147	3,907,302	4,120,005	3,966,818
	委託料	24,291,472	23,799,472	24,495,861	24,195,602
	指定管理料	0	0	0	0
	使用料	795,300	781,880	708,180	761,787
	工事請負費	0	0	0	0
	修繕費	0	0	0	0
	支出合計	96,659,919	103,688,654	116,924,046	105,757,540
収入	使用料	3,592,050	5,109,800	5,204,200	4,635,350
	財産収入	0	0	0	0
	国県支出金	6,598,204	8,835,000	9282000	8,238,401
	その他	0		0	0
	歳入合計	10,190,254	13,944,800	14,486,200	12,873,751
負担額（支出ー収入）		86,469,665	89,743,854	102,437,846	92,883,788

④利用状況

貸室別利用者数（人）	2023年度（R５年度）	2024年度（R6年度）	2025年度（R7年度）	平均
ホール	28,798	33,591	38,114	33,501.0
つどいの広場　ポッケ	13,768	16,303	18,756	16,275.7
一時預かり室　すくにこ	338	539	586	487.7
利用者数合計（人）	42,904	50,433	57,456	50,264.3

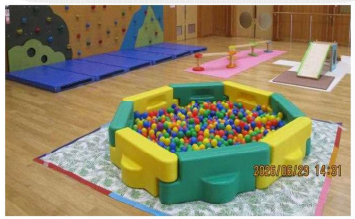
※人件費は経常的な経費として，給料・職員手当等・共済費／職員数の当初予算時の給与費明細書ベースで計上。

⑤コスト分析

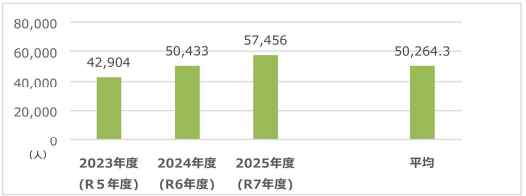
各種コスト	2023年度（R５年度）	2024年度（R6年度）	2025年度（R7年度）	平均
利用者1人当たり支出（円/人）	2,252.9	2,056.0	2,035.0	2,114.6
延床面積当たり支出（円/㎡）	69,297.7	74,336.8	83,825.5	75,820.0
市民1人当たり支出（円/人）	780.9	849.7	972.1	867.5
利用者1人当たり収支（円/人）	2,015.4	1,779.5	1,782.9	1,859.3
延床面積当たり収支（円/㎡）	61,992.1	64,339.4	73,440.0	66,590.5
市民1人当たり収支（円/人）	698.6	735.4	851.6	761.9

■施設写真

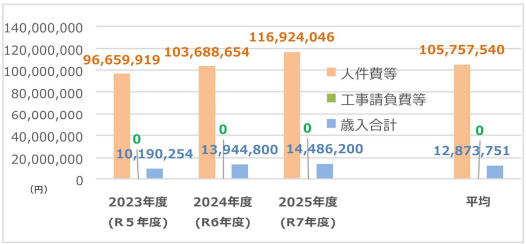




■利用者数（人）の推移



■収入・支出（円）の推移



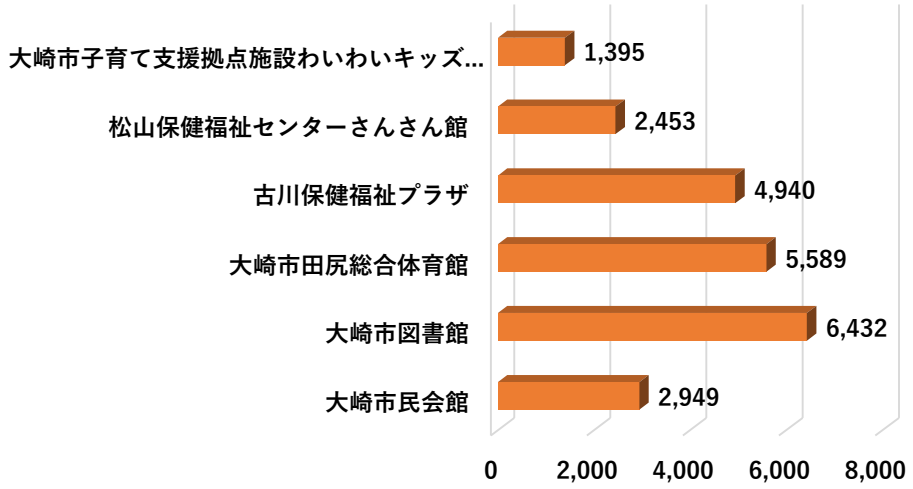
⑥工事（改修・修繕）履歴

実施年度	金額（円）	工事内容

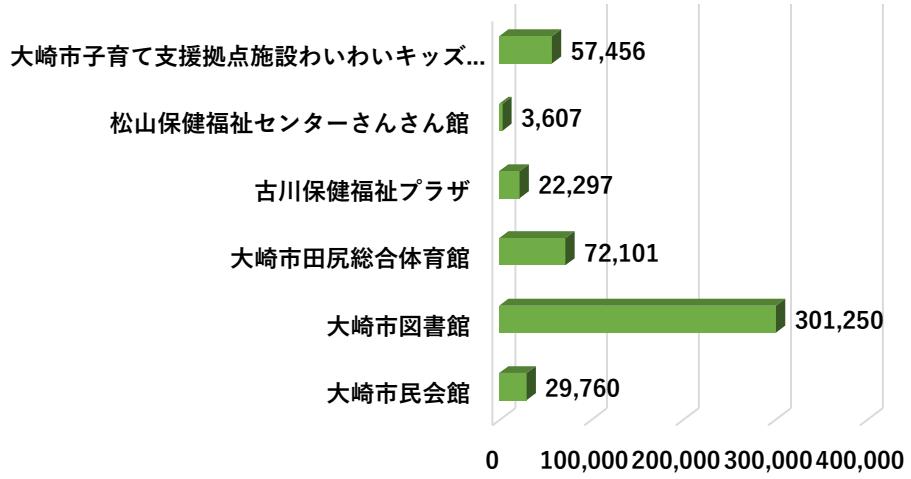
※2017年度（H28年度）以降に実施した50万円以上の修繕及び工事を記載（50万円未満であっても施設管理上必要と思われる修繕及び工事は記載）

【参 考】各施設による比較（項目別）

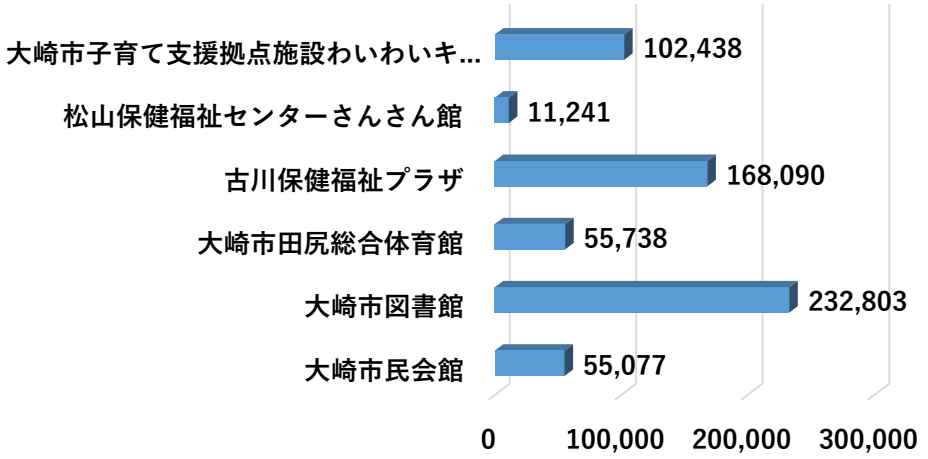
施設の延床面積比較（㎡）



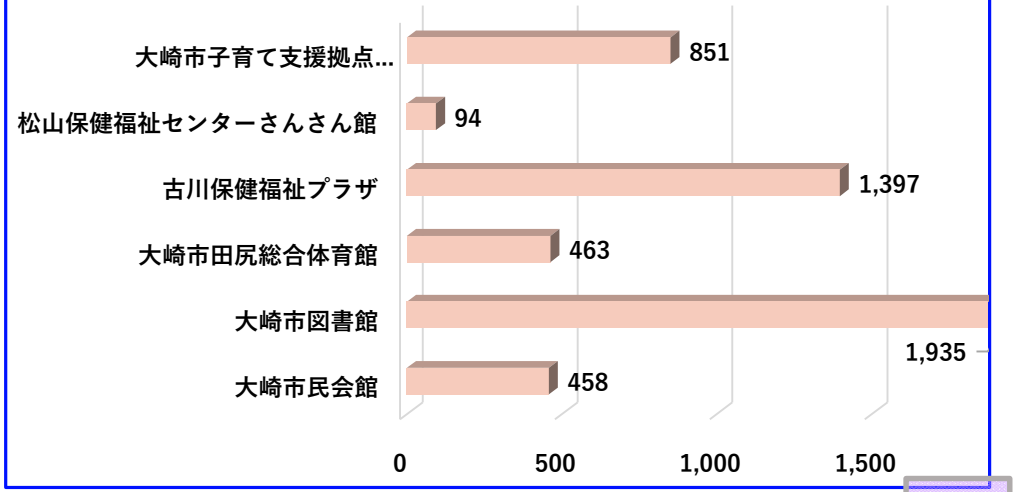
施設の利用者数比較（人）



施設の支出額比較（千円／年）



市民1人当たりの負担額（円／年）



意見交換2　市民フォーラムの開催について

○目　　的　市民に大崎市の公共施設の現状を認識していただくとともに，公共施設の今後の計画の推進にあたり，基調講演，パネルディスカッションによる意見交換会を実施するもの。

○日　　時　令和８年１２月１３日（日）　１３時３０分～１５時３０分（予定）

○会　　場　本庁舎３階　３０１．３０２会議室（最大１０８席），パタ崎さん家（１３８席）
【WEB配信を予定】

○対　　象　１００名程度を想定

○案内対象者　行政改革推進委員１２名，まちづくり協議会７名，行政区長（３６６名），
指定管理者７６名，施設利用者（文化協会７名・体育協会７名程度），大崎市PTA連合協議会7名
上記のほか広報，ウェブサイト，チラシ等を利用し一般市民も対象とする。

○資　　料　Ａ４で2ページ程度を想定（講師と要調整）

○講　　師　宮城大学事業構想学群　准教授　上森　貞行

○開催内容
（１）市長挨拶（１０分）
（２）公共施設の現状について（２０分）
（３）基調講演　公共施設管理総合計画の推進事例（５０分）
休憩（１０分）
（４）パネルディスカッション（３０分）

◆プログラム

1. 公共施設の現状について

①大崎市の行財政事情と公共施設の現状について
（公共施設が抱える問題・施設カルテによる施設の利用状況・コスト分析の説明，
市民意識調査による市民の現状認識）

②未来へ向けた公共施設等総合管理計画

2. 基調講演

講師　宮城大学事業構想学群　准教授　上森　貞行
内容　公共施設等総合管理計画の先進事例（上森准教授と要相談）

3. パネルディスカッション

〇テーマ：これからの公共施設のあり方について（上森准教授と要相談）
〇コーディネーター：宮野市民協働推進部長
〇パネリスト：上森准教授，行政改革推進委員（学識経験者・地域代表），
若者代表

住民説明会までの取組の流れ　9/28現在

取 組 内 容

広報おおさきへの掲載

●実施時期：８月～

〈内容〉
行財政改革の取組と公共施設の現状について紹介

アンケートの実施

●実施時期：7月～8月

〈目的〉
市民の公共施設への関心，利用状況等を調査

新規追加

行政区長会議等･説明

●実施時期：１０月

〈内容〉
- 行財政改革の取組と公共施設の現状及び公共施設等総合管理計画の改訂について説明。
- 公共施設と共に考える将来のまちづくりに向けた意見交換会を各地域ごとに開催するため，説明し，ご理解いただく。

〈開催予定日〉
- 古　川：10月
- 鳴 子：10/28
- 松　山：10月
- 田 尻：10/20
- 三本木：10/13
- 鹿島台：10/6
- 岩出山：10/28

フォーラムの開催

●実施予定日：12月13日　変更

〈目的〉
全国の自治体や大崎市の公共施設の現状を多くの市民に知ってもらい，各地域で開催する意見交換会での個別協議に繋げる

〈対象〉
- 大崎市民

〈内容（予定）〉
- 公共施設の維持管理費等の現状，老朽化率，施設数
- 施設数の縮減へ向けた取組
- 意見交換会の開催事例 等

意見交換会（地域フォーラム）の開催

●実施時期：R9.1月～2月

〈目的〉
各地域のまちづくりに向けて将来のあるべき姿を公共施設と共に考え，協議する

〈対象〉
- 各地域の公共施設を使う人，使わない人等，あらゆる立場の人

〈説明の仕方〉
- 行財政改革の取組，公共施設の現状を資料を用いて説明
- 理解してもらうため，分かりやすいつくりの工夫が必要

①取組の説明

②意見･反映

③結果･報告

④意見･活用

行革委員会

第１回委員会

●開催日：7月8日

第２回委員会

●開催日：９月２８日　変更